

# 地元企業の景況 第50号

郡上市八幡町新町961番地  
八幡信用金庫  
経営企画本部  
TEL (0575) 65 - 3174  
FAX (0575) 66 - 2252

## < 業況判断 >

### 今期業況小幅改善、来期は悪化見通し

#### 今期(平成19年7~9月期)

1. 今期 32.4と前期(平成19年4月~6月期) 37.1に比べ4.7ポイント改善。
2. 小売業、卸売業、飲食業、サービス業で改善が見られたものの、不動産業、農業、製造業、建設業で悪化。地域内の業況は依然として厳しい状況。

#### 来期(平成19年10~12月期)

1. 来期 35.1と今期 32.4に比べ2.7ポイント悪化予想。
2. 製造業で小幅改善するも、建設業、不動産業、農業で横這い、卸売業、サービス業、飲食業、小売業で悪化予想。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

業種	前期 H19年 4~6月	今期 H19年 7~9月	来期 H19年 10~12月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

きわめて不振 DI < 30	不振 30 DI < 15	やや不振 15 DI < 0	まあまあ 0 DI < 15	好調 15 DI < 30	特に好調 30 DI

## 調査概要

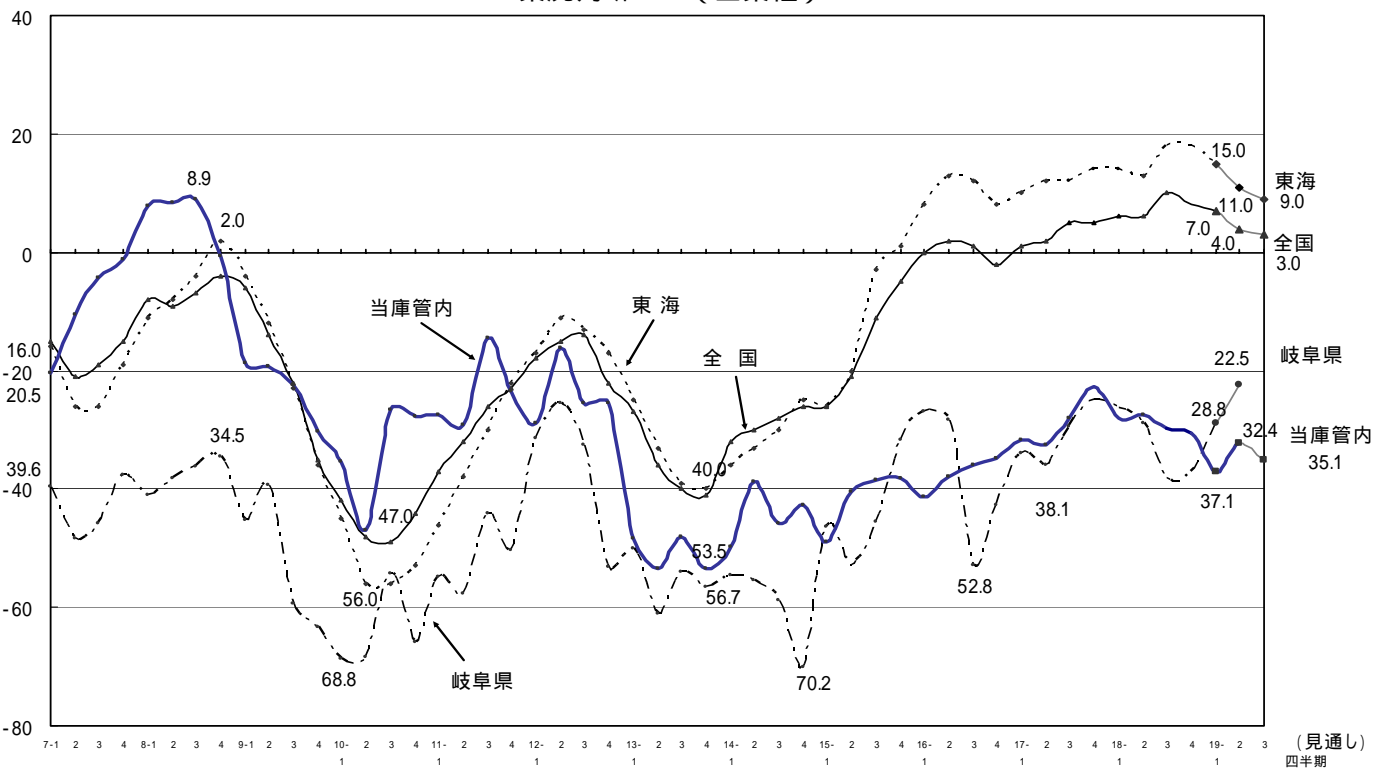
- 調査目的 郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先を中心とした景気動向
- 調査対象 当金庫取引先 236先  
(郡上市203社 下呂市19社 高山市・大野郡白川村14社)
- 調査時期 平成19年7月1日~9月30日
- 調査時点 平成19年9月25日時点
- 回収状況 配付数 236先(うち回収数185先) 回収率 78.4%
- 調査項目 (1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り  
(5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期  
製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
- 補足調査 有効求人倍率について
- 参考資料
- 調査方法並びに注意事項
- ・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断...D.I.(ディフュージョン・インデックス)
  - ・数値のほかグラフも掲載致しました。
  - ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。
  - ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

# 1. 業況判断

全業種の業況判断D I（良い - 悪い）は、今期（平成19年7～9月期） 32.4と前期（平成19年4～6月期） 37.1に比べ4.7ポイントの小幅改善となりました。業種別では、小売業で21.4ポイント、卸売業で18.1ポイント、飲食業で3.9ポイント、サービス業で2.9ポイント改善が見られたものの、不動産業、農業、製造業、建設業で悪化となりました。地域内の業況は依然として厳しい状況が続いています。

来期（平成19年10～12月期）の業況判断見通しは、製造業で小幅改善の見通しですが、建設業、不動産業、農業で横這いとなり、卸売業、サービス業、飲食業、小売業で悪化の見通しとなり、その結果、全業種D Iは 35.1と2.7ポイントの悪化予想となっています。

業況判断D I（全業種）



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は国民生活金融公庫岐阜支店による。

業況判断

(%)

業種	H19年4月～6月(前期)				H19年7月～9月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	25.4	35.6	39.0	13.6	21.4	39.3	39.3	17.9	19.6	46.4	33.9	14.3
卸売業	13.3	26.7	60.0	46.7	21.4	28.6	50.0	28.6	14.3	28.6	57.1	42.8
小売業	7.5	28.3	64.2	56.7	17.6	29.4	52.9	35.3	13.7	33.3	52.9	39.2
飲食業	8.3	25.0	66.7	58.4	9.1	27.3	63.6	54.5	9.1	18.2	72.7	63.6
サービス業	0.0	53.3	46.7	46.7	12.5	31.3	56.3	43.8	6.3	31.3	62.5	56.2
建設業	23.3	16.7	60.0	36.7	14.8	33.3	51.9	37.1	14.8	33.3	51.9	37.1
不動産業	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	60.0	40.0	40.0	0.0	60.0	40.0	40.0
農業	0.0	50.0	50.0	50.0	20.0	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	80.0	60.0
全業種	15.5	32.0	52.6	37.1	17.3	33.0	49.7	32.4	14.6	35.7	49.7	35.1

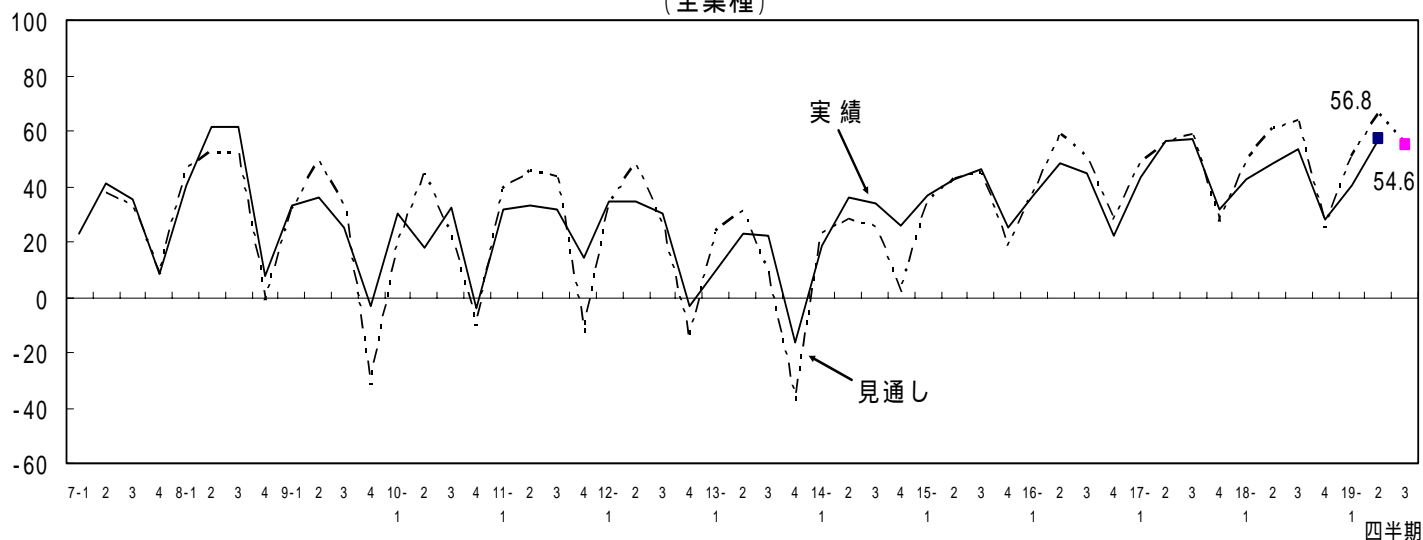
## 2. 売上・受注

### (1) 売上

建設業を除く売上DI(増加-減少)は、今期56.8と前期40.2に比べ16.6ポイント改善となりました。業種別では、不動産業、農業で悪化したものの、飲食業で65ポイント以上の大幅改善をはじめ、小売業で39.0ポイント、サービス業で17.5ポイント、製造業で11.6ポイント、卸売業で10.6ポイントそれぞれ改善となりました。今期の売上DIは、平成17年7～9月期と同水準となる過去2番目に高い数値となりました。

建設業を除く来期の見通しは、不動産業、農業、製造業で改善、卸売業、サービス業で横這いとなりますが、飲食業、小売業で悪化の見通しとなり、その結果、全業種DIは54.6と2.2ポイントの小幅悪化予想となっています。

売上DI  
(全業種)



### 売上

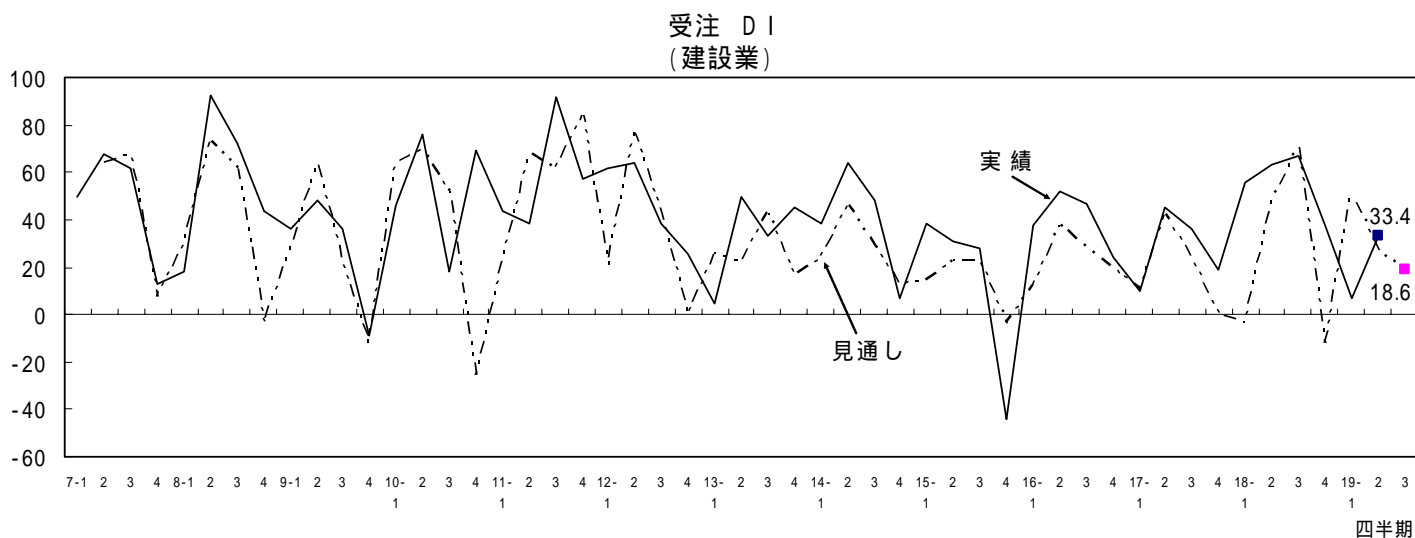
(%)

業種	H19年4月～6月(前期)			H19年7月～9月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI	増加	減少	DI
製造業	74.6	25.4	49.2	80.4	19.6	60.8	83.9	16.1	67.8
卸売業	73.3	26.7	46.6	78.6	21.4	57.2	78.6	21.4	57.2
小売業	49.1	50.9	1.8	68.6	31.4	37.2	64.7	35.3	29.4
飲食業	58.3	41.7	16.6	90.9	9.1	81.8	54.5	45.5	9.0
サービス業	60.0	40.0	20.0	68.8	31.3	37.5	68.8	31.3	37.5
不動産業	100.0	0.0	100.0	60.0	40.0	20.0	80.0	20.0	60.0
農業	75.0	25.0	50.0	60.0	40.0	20.0	80.0	20.0	60.0
全業種	70.1	29.9	40.2	78.4	21.6	56.8	77.3	22.7	54.6

(2) 受注

建設業（建築工事19先、土木工事13先）の受注DI（増加-減少）は、今期33.4と前期6.6に比べ26.8ポイント改善となりました。

来期の見通しは、土木工事で18.2ポイント、建築工事で12.5ポイントの悪化となり、全体では18.6と14.8ポイントの悪化予想となっています。



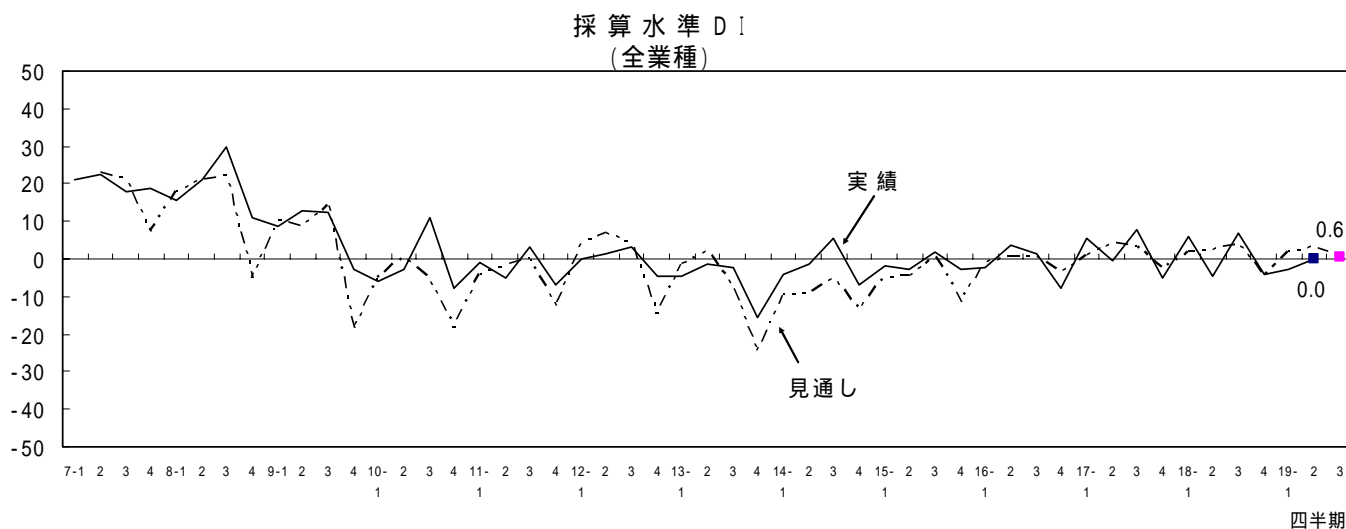
受注 (％)

業種	H19年4月～6月(前期)			H19年7月～9月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI	増加	減少	DI
建設業(受注)	53.3	46.7	6.6	66.7	33.3	33.4	59.3	40.7	18.6

### 3. 採算水準

全業種の採算水準D I（黒字 - 赤字）は、今期0.0と前期 2.6 に比べ2.6ポイント改善となりました。業種別では、不動産業、農業、製造業、卸売業で悪化となりましたが、飲食業で20ポイント以上の大幅改善をはじめ、その他の業種でも改善となりました。

来期の見通しは、サービス業、建設業、飲食業、小売業で悪化となりますが、農業で80.0ポイントの大幅改善をはじめ、不動産業、製造業、卸売業でそれぞれ改善する見通しとなり、その結果、全業種D Iは0.6と0.6ポイントの改善予想となっています。



採算水準

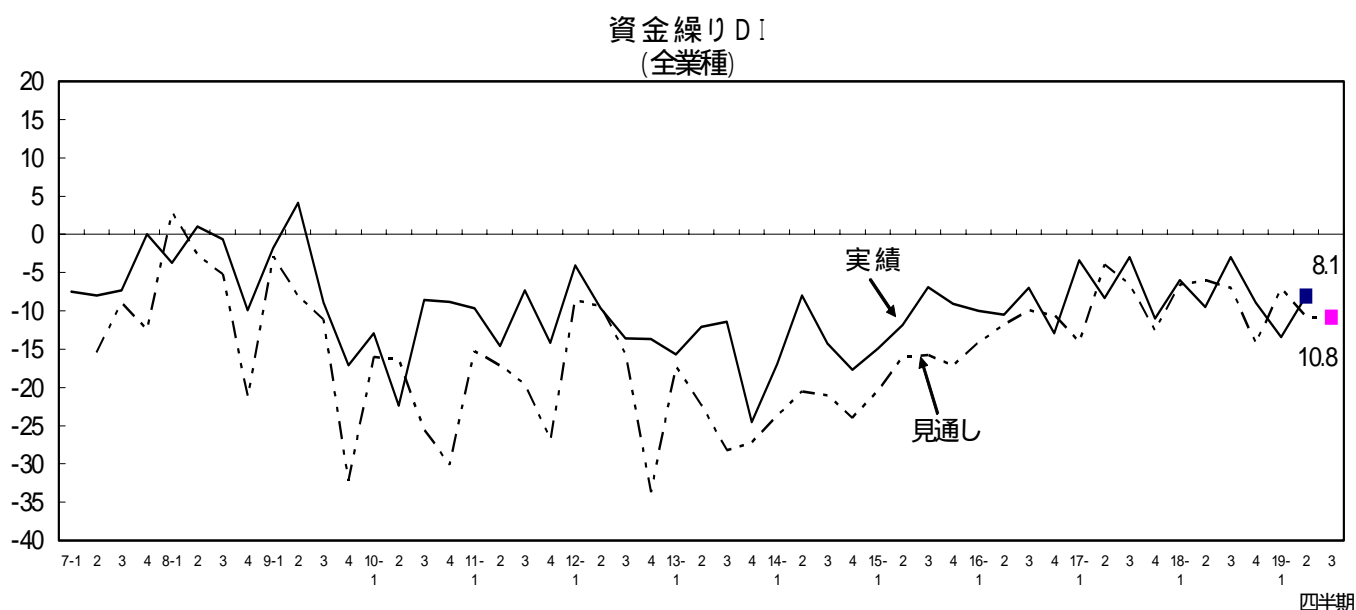
(%)

業種	H19年4月～6月(前期)				H19年7月～9月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支ト/ロ	赤字	D I	黒字	収支ト/ロ	赤字	D I	黒字	収支ト/ロ	赤字	D I
製造業	25.4	61.0	13.6	11.8	28.6	51.8	19.6	9.0	32.1	55.4	12.5	19.6
卸売業	20.0	53.3	26.7	6.7	14.3	64.3	21.4	7.1	21.4	57.1	21.4	0.0
小売業	17.0	54.7	28.3	11.3	19.6	56.9	23.5	3.9	11.8	68.6	19.6	7.8
飲食業	8.3	50.0	41.7	33.4	18.2	54.5	27.3	9.1	18.2	45.5	36.4	18.2
サービス業	26.7	46.7	26.7	0.0	25.0	56.3	18.8	6.2	6.3	68.8	25.0	18.7
建設業	13.3	73.3	13.3	0.0	11.1	81.5	7.4	3.7	7.4	74.1	18.5	11.1
不動産業	16.7	83.3	0.0	16.7	20.0	60.0	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0
農業	25.0	0.0	75.0	50.0	0.0	40.0	60.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0
全業種	19.6	58.2	22.2	2.6	20.5	58.9	20.5	0.0	19.5	61.6	18.9	0.6

## 4. 資金繰り

全業種の資金繰りD I（好転 - 悪化）は、今期 8.1と前期 13.4に比べ5.3ポイント改善となりました。業種別では、農業、製造業で悪化、不動産業で横這いとなった他は改善となりました。

来期の見通しは、農業、製造業、小売業で改善となる見通しですが、その他の業種で悪化する見通しとなり、その結果、全業種D Iは 10.8と2.7ポイントの悪化予想となっています。



資金繰り

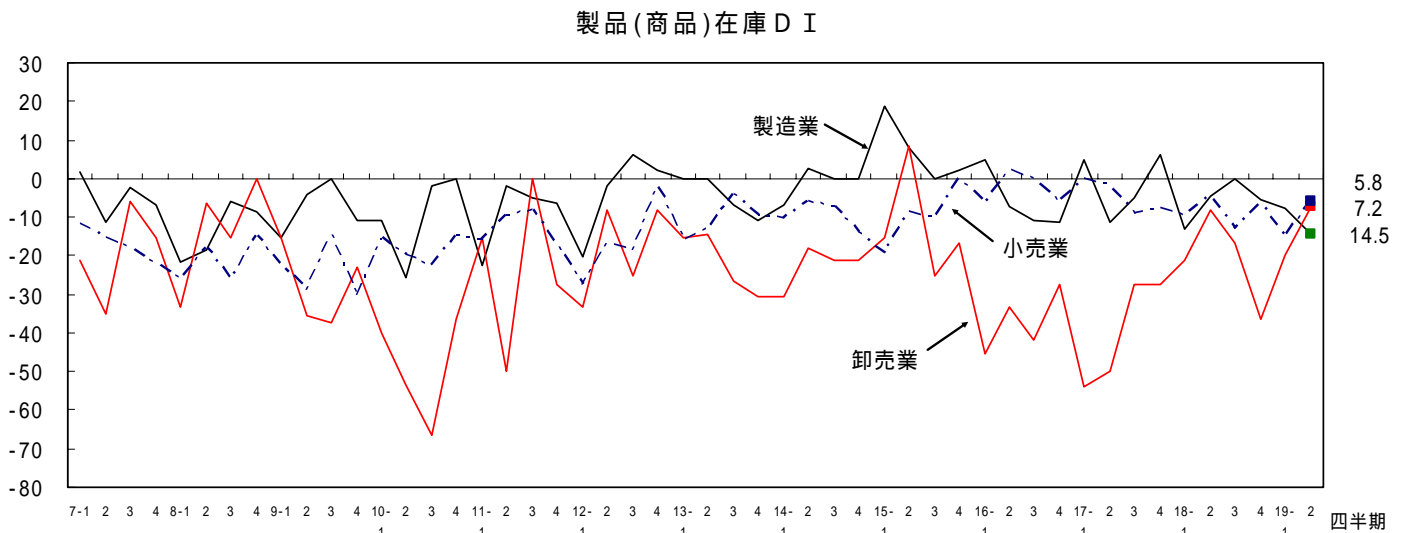
(%)

業 種	H19年4月～6月(前期)				H19年7月～9月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I
製 造 業	13.6	76.3	10.2	3.4	19.6	62.5	17.9	1.7	19.6	69.6	10.7	8.9
卸 売 業	13.3	60.0	26.7	13.4	14.3	64.3	21.4	7.1	7.1	57.1	35.7	28.6
小 売 業	3.8	66.0	30.2	26.4	5.9	68.6	25.5	19.6	2.0	78.4	19.6	17.6
飲 食 業	8.3	66.7	25.0	16.7	9.1	81.8	9.1	0.0	9.1	72.7	18.2	9.1
サ ー ビ ス 業	0.0	73.3	26.7	26.7	6.3	75.0	18.8	12.5	0.0	75.0	25.0	25.0
建 設 業	10.0	63.3	26.7	16.7	11.1	77.8	11.1	0.0	3.7	70.4	25.9	22.2
不 動 産 業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	20.0
農 業	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	40.0	60.0	60.0	40.0	20.0	40.0	0.0
全 業 種	8.2	70.1	21.6	13.4	11.4	69.2	19.5	8.1	9.2	70.8	20.0	10.8

## 5 . 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫D I（不足 - 過大）は、製造業で 14.5と6.7ポイント悪化となりましたが、卸売業で 7.2と12.8ポイント、小売業で 5.8と9.6ポイントそれぞれ改善となりました。

製造業は在庫の不足感が減少し、適正感が増加となりました。小売業は不足感が増加し、過大感が減少しています。卸売業は適正感が減少し、不足感が増加しています。



製品(商品)在庫

(%)

業種	H19年4月～6月(前期)				H19年7月～9月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製造業	11.8	68.6	19.6	7.8	6.3	72.9	20.8	14.5
卸売業	6.7	66.7	26.7	20.0	21.4	50.0	28.6	7.2
小売業	9.6	65.4	25.0	15.4	11.8	70.6	17.6	5.8

## 6. 設備投資

設備投資は今期「行った」が全業種では22.7%と前期に比べ2.6ポイント増加しました。業種別では、建設業、製造業、サービス業で強まりました。

今期の投資目的としては、「機械・設備の新・増設」が11件と最も多く、続いて「車輛」が10件、「機械・設備の更改」が9件、「事業用土地・建物」が6件、「事務機器」が5件、「その他」が1件の順となっています。

来期は「行う」が全業種で13.5%と今期より9.2ポイント弱まる見込みです。業種別では、卸売業、飲食業、不動産業、農業で横這いとなる見込みですが、その他の業種で弱まる見込みです。

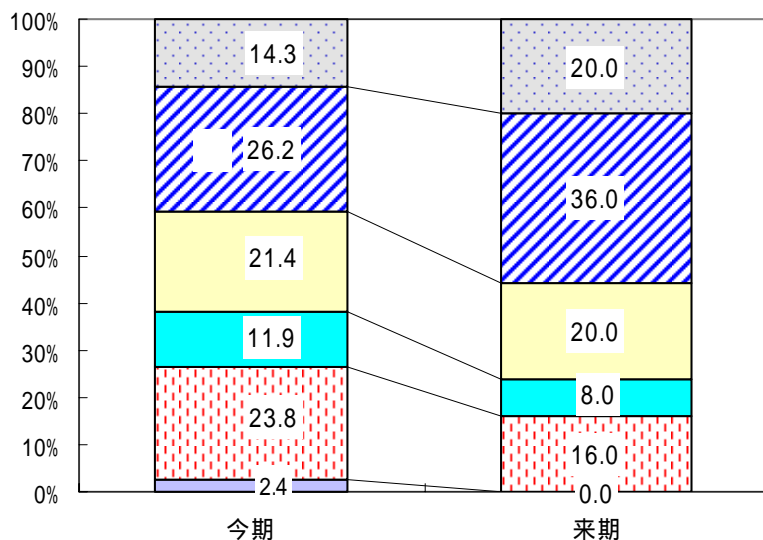
設備投資

(%)

業種	H19年4月～6月(前期)		H19年7月～9月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	22.0	78.0	26.8	73.2	23.2	76.8
卸売業	20.0	80.0	7.1	92.9	7.1	92.9
小売業	18.9	81.1	17.6	82.4	5.9	94.1
飲食業	25.0	75.0	18.2	81.8	18.2	81.8
サービス業	0.0	100.0	18.8	81.3	0.0	100.0
建設業	16.7	83.3	37.0	63.0	14.8	85.2
不動産業	50.0	50.0	20.0	80.0	20.0	80.0
農業	50.0	50.0	20.0	80.0	20.0	80.0
全業種	20.1	79.9	22.7	77.3	13.5	86.5

投資目的

区分	H19年7月～9月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
事業用土地・建物	6	14.3	5	20.0
機械・設備の新・増設	11	26.2	9	36.0
機械・設備の更改	9	21.4	5	20.0
事務機器	5	11.9	2	8.0
車輛	10	23.8	4	16.0
その他	1	2.4	0	0.0
合計	42	100.0	25	100.0



## 7. 経営上の問題点

1位 売上の停滞・減少 2位 利幅の縮小 3位 その他（全業種）

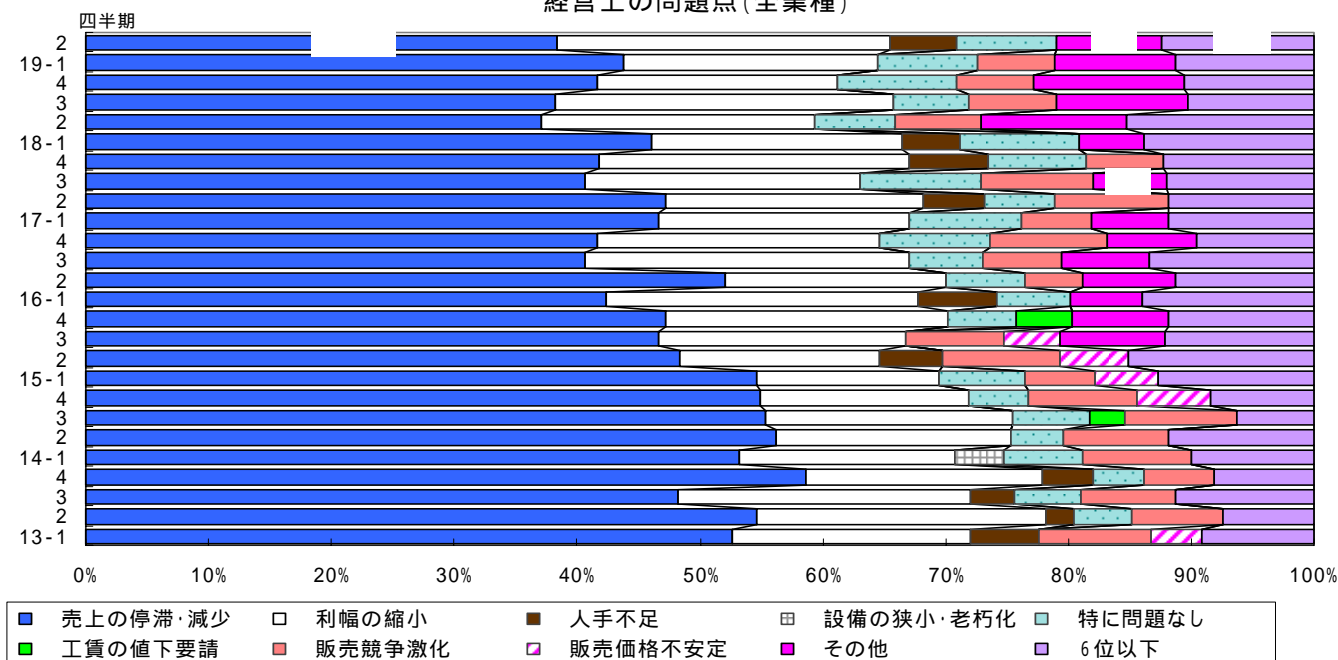
今期も1、2、3位に順位の変動はありませんでした。内容としては、1位の「売上の停滞・減少」は38.4%（前期より5.4ポイント減少）と全業種で1位、また2位の「利幅の縮小」は27.0%（前期より6.4ポイント増加）と全業種で2位となっており、いずれも依然深刻な問題となっています。なお、サービス業では「売上の停滞・減少」、「利幅の縮小」が37.5と同率の1位となっています。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	利幅の縮小 32.1	売上の停滞・減少 25.0	問題なし 14.3	設備狭小・老朽化 10.7	人手不足 7.1
卸売業	売上の停滞・減少 64.3	利幅の縮小 14.3	販売競争激化 7.1	販売価格の不安定 7.1	問題なし 7.1
小売業	売上の停滞・減少 47.1	利幅の縮小 19.6	販売競争激化 11.8	人手不足 9.8	販売価格の不安定 5.9
飲食業	売上の停滞・減少 36.4	その他 27.3	利幅の縮小 18.2	販売価格の不安定 9.1	問題なし 9.1
サービス業	売上の停滞・減少 37.5	利幅の縮小 37.5	設備狭小・老朽化 12.5	販売価格の不安定 6.3	その他 6.3
建設業	売上の停滞・減少 44.4	利幅の縮小 29.6	その他 18.5	人手不足 3.7	問題なし 3.7
不動産業	利幅の縮小 60.0	売上の停滞・減少 20.0	問題なし 20.0		
農業	その他 60.0	売上の停滞・減少 20.0	利幅の縮小 20.0		
全業種	売上の停滞・減少 38.4	利幅の縮小 27.0	その他 8.6	問題なし 8.1	人手不足 5.4

経営上の問題点(全業種)



(%)

区分	16-2	3	4	17-1	2	3	4	18-1	2	3	4	19-1	2
売上の停滞・減少	52.0	40.6	41.6	46.6	47.2	40.1	40.3	46.1	37.1	38.1	40.0	43.8	38.4
利幅の縮小	18.1	26.5	23.0	20.5	21.1	22.2	24.3	20.4	22.4	27.4	18.8	20.6	27.0
その他	7.6	7.1	7.3	6.3	-	6.0	-	5.4	11.8	10.7	11.8	9.8	8.6
特に問題なし	6.4	5.9	9.0	9.1	5.6	9.6	7.7	9.6	6.5	6.0	9.4	8.2	8.1
人手不足	-	-	-	-	5.0	-	6.1	4.8	-	-	-	-	5.4
販売競争激化	4.7	6.5	9.6	5.7	9.4	9.0	6.1	-	7.1	7.1	5.9	6.2	-
設備の狭小・老朽化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
販売価格の不安定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工賃の値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」は6以下を示しています。

## 8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、全業種で「すでに回復」が6.5%と最も多く、次いで「平成21年1月以降」が3.2%となっております。

また「わからない」では、83.2%と前期に比べ2.8ポイント増加しており、特に、飲食業と農業では100%を占めており、依然不透明感は強いものがあります。

業況の回復時期

(先、%)

業種	回答企業数	すでに回復	平成19年10~12月	平成20年1~3月	4~6月	7~12月	平成21年1月以降	わからない
製造業	56	16.1	3.6	1.8	0.0	1.8	3.6	73.2
卸売業	14	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	92.9
小売業	51	3.9	2.0	2.0	3.9	2.0	2.0	84.3
飲食業	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
サービス業	16	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	87.5
建設業	27	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	7.4	85.2
不動産業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0
農業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全業種	185	6.5	2.2	2.2	1.1	1.6	3.2	83.2

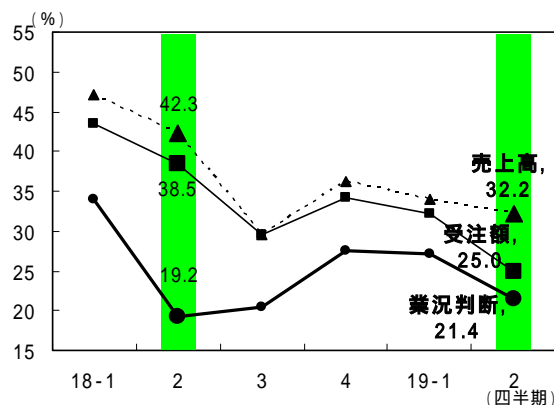
## 補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(平成18年7~9月期)との比較調査を每期実施しております。

製造業の「売上高」では、前年同期(回答数52先)は“増加”“やや増加”の回答が42.3%(22先)に対し、今期(回答数56先)は32.2%(18先)と10.1ポイント減少、「受注額」では同様38.5%(20先)に対し、25.0%(14先)と13.5ポイント減少となっています。「業況判断」では前期同期は“かなり良い”“やや良い”が19.2%(10先)に対し、今期は21.4%(12先)と2.2ポイント増加となっています。

製造業は「業況判断」で前年同期よりポイントが増加していますが、「売上高」「受注額」は3期連続で減少しています。

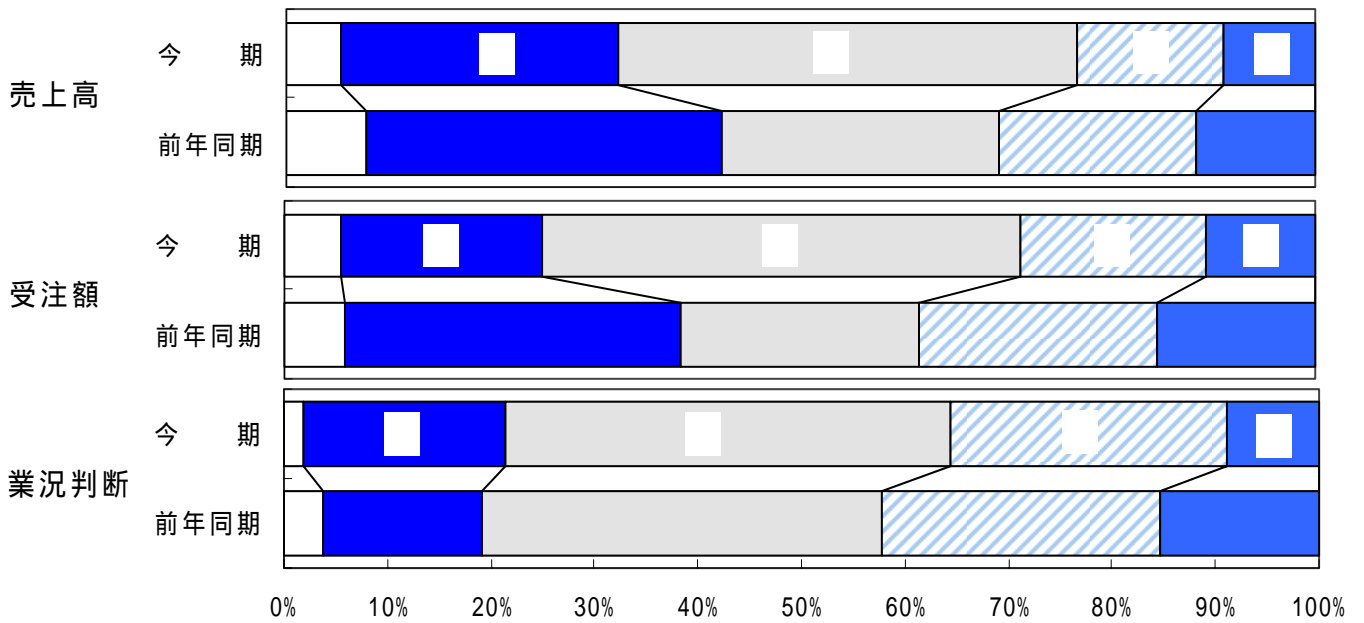
「売上高」「受注額」の“増加”“やや増加”  
「業況判断」の“かなり良い”“やや良い”  
前年同期との比較



< 製造業 >

(先、%)

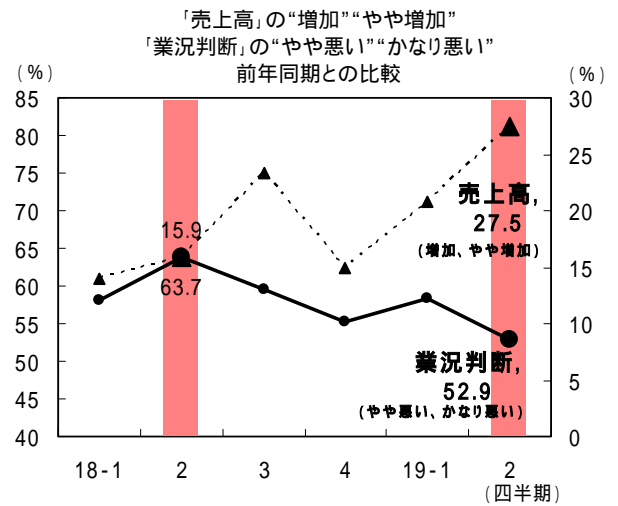
区分	売上高		受注額		区分	業況判断							
	18年7~9月	19年7~9月	18年7~9月	19年7~9月		18年7~9月	19年7~9月						
増加	4	7.7	3	5.4	3	5.8	3	5.4	かなり良い	2	3.8	1	1.8
やや増加	18	34.6	15	26.8	17	32.7	11	19.6	やや良い	8	15.4	11	19.6
変らず	14	26.9	25	44.6	12	23.1	26	46.4	良くも悪くもない	20	38.5	24	42.9
やや減少	10	19.2	8	14.3	12	23.1	10	17.9	やや悪い	14	26.9	15	26.8
減少	6	11.5	5	8.9	8	15.4	6	10.7	かなり悪い	8	15.4	5	8.9
合計	52	100.0	56	100.0	52	100.0	56	100.0	合計	52	100.0	56	100.0



小売業の「売上高」では前年同期（回答数44先）は“増加”“やや増加”の割合が15.9%（7先）に対し、今期（回答数51先）は27.5%（14先）と11.6ポイント増加となっています。

「業況判断」では“やや悪い”“かなり悪い”が63.7%（28先）に対し、今期は52.9%（27先）と前年同期に比べ10.8ポイント減少となっております。

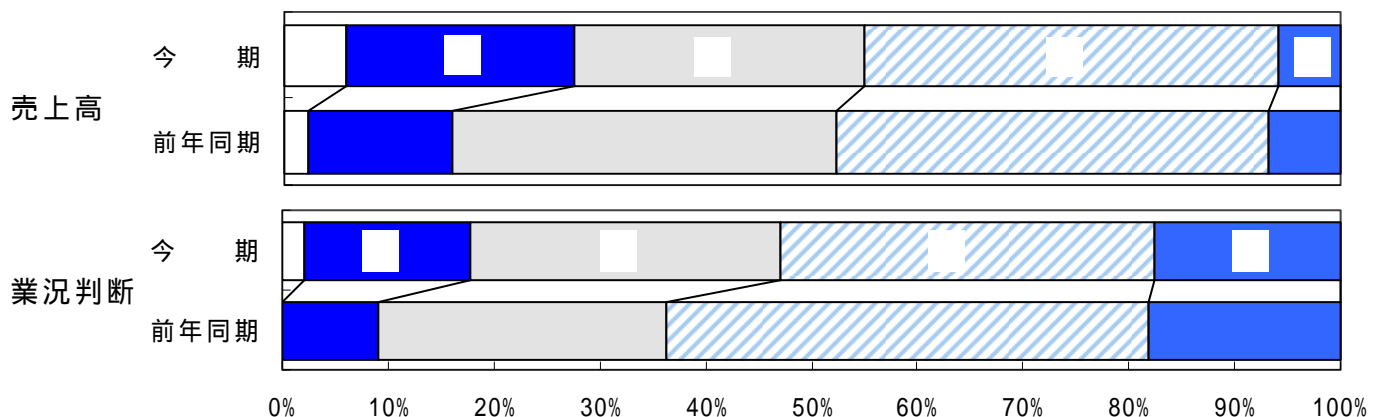
「売上高」および「業況判断」の結果からみて、地域内における個人消費の回復が期待されます。



<小売業>

(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	18年7~9月		19年7~9月			18年7~9月		19年7~9月	
増加	1	2.3	3	5.9	かなり良い	0	0.0	1	2.0
やや増加	6	13.6	11	21.6	やや良い	4	9.1	8	15.7
変わらず	16	36.4	14	27.5	良くも悪くもない	12	27.3	15	29.4
やや減少	18	40.9	20	39.2	やや悪い	20	45.5	18	35.3
減少	3	6.8	3	5.9	かなり悪い	8	18.2	9	17.6
合計	44	100.0	51	100.0	合計	44	100.0	51	100.0



## 有効求人倍率について

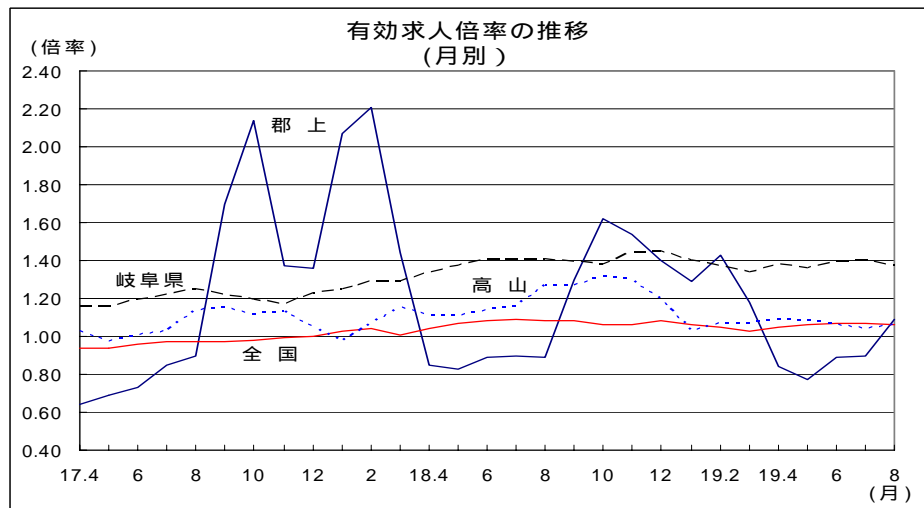
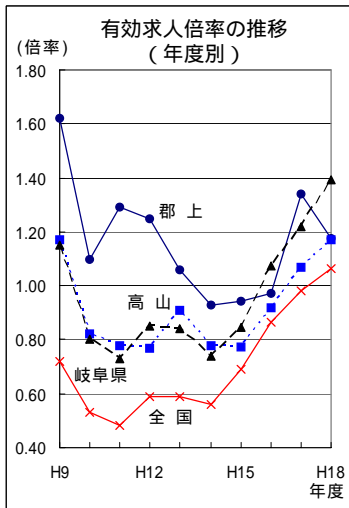
岐阜八幡(郡上市)、高山の公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の8月の有効求人倍率は、1.09倍で前月比0.19ポイント、前年同月比で0.20ポイントそれぞれ増加となりました。新規求人数は180人、前年同月比59人増となりました。高山管内の8月の同倍率は1.06倍で、前月比0.02ポイント増加、前年同月比0.21ポイント低下となりました。新規求人数は532人、前年同月比117人減となりました。

また、全国および岐阜県の8月の有効求人倍率は、全国が前月比0.01ポイント低下の1.06倍、岐阜県は前月比0.03ポイント低下の1.37倍となりました。

(資料提供：岐阜八幡、高山公共職業安定所)

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$



年度別有効求人倍率

区分	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
郡上	1.62	1.10	1.29	1.25	1.06	0.93	0.94	0.97	1.34	1.18
高山	1.17	0.82	0.78	0.77	0.91	0.78	0.77	0.92	1.07	1.17
岐阜県	1.15	0.80	0.73	0.85	0.84	0.74	0.85	1.07	1.22	1.39
全国	0.72	0.53	0.48	0.59	0.59	0.56	0.69	0.86	0.98	1.07

有効求人倍率

区分	17.4	5	6	7	8	9	10	11	12	18.1	2	3
郡上	0.64	0.69	0.73	0.85	0.90	1.70	2.14	1.37	1.36	2.07	2.21	1.44
高山	1.03	0.97	1.01	1.03	1.14	1.15	1.12	1.13	1.05	0.97	1.07	1.15
岐阜県	1.16	1.16	1.19	1.22	1.25	1.22	1.19	1.17	1.23	1.25	1.29	1.29
全国	0.94	0.94	0.96	0.97	0.97	0.97	0.98	0.99	1.00	1.03	1.04	1.01

区分	18.4	5	6	7	8	9	10	11	12	19.1	2	3
郡上	0.85	0.83	0.89	0.90	0.89	1.30	1.62	1.54	1.40	1.29	1.43	1.18
高山	1.11	1.11	1.14	1.16	1.27	1.27	1.32	1.30	1.19	1.03	1.07	1.07
岐阜県	1.34	1.37	1.41	1.41	1.41	1.39	1.38	1.44	1.45	1.40	1.37	1.34
全国	1.04	1.07	1.08	1.09	1.08	1.08	1.06	1.06	1.08	1.06	1.05	1.03

区分	19.4	5	6	7	8
郡上	0.84	0.77	0.89	0.90	1.09
高山	1.09	1.08	1.06	1.04	1.06
岐阜県	1.38	1.36	1.39	1.40	1.37
全国	1.05	1.06	1.07	1.07	1.06